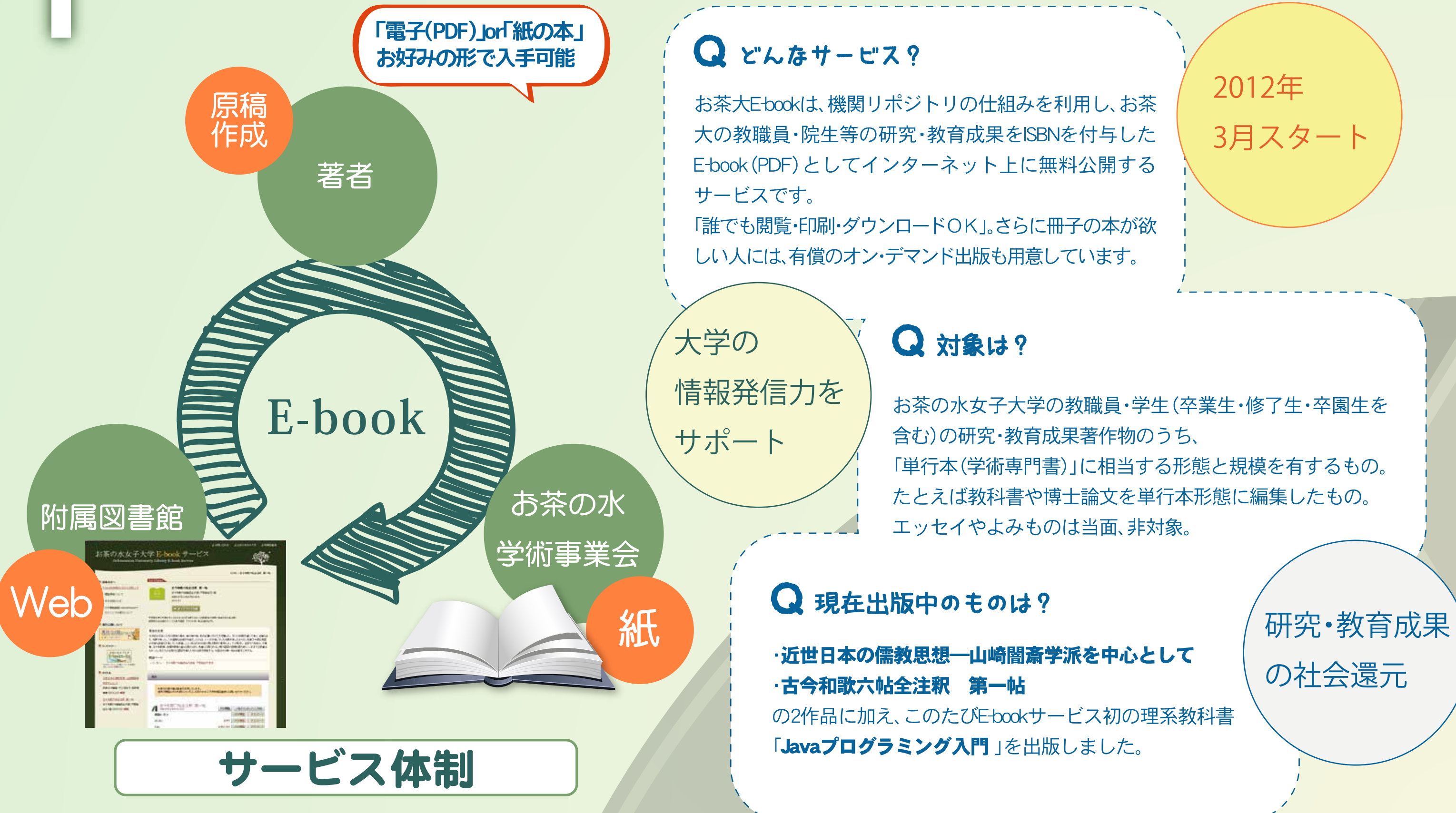


お茶の水女子大学 E-book サービス

<http://www.lib.ocha.ac.jp/e-book/>

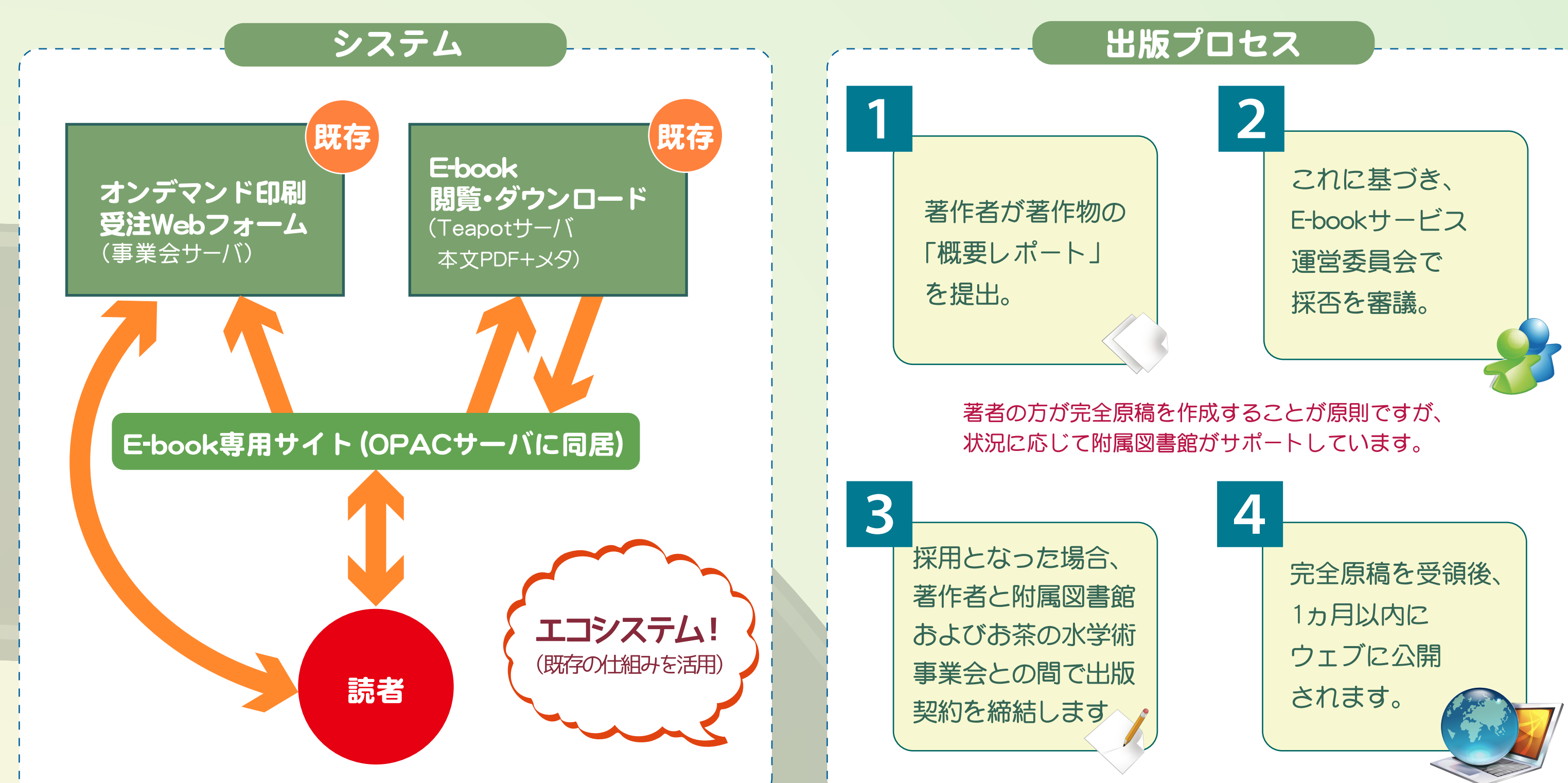


1 お茶大E-bookサービスとは？



2 E-bookのしくみ

E-bookのサービスは既存のサービスを活用した様々な工夫により運営されています。



3 著者・関係者たちからの声

利用・出版実績

- 電子書籍、オンデマンド出版のDL・販売冊数 (2013/10/11現在)
- 「近世日本の儒教思想」…8冊・7038DL
- 「古今和歌六帖全注釈:第一帖」…17冊・4381DL

2つの作品の利用実績は想定以上!

期待以上に! 読者に読まれているようで安心。

- 内容的にかなり専門的であるにもかかわらず、多くの方にDLされていることに驚き。
- 私たちは原稿料が入らなくても読んでもらえれば、研究の成果を共有することに意義があると思っていますので、E-bookは本当に合致していました。

著者・関係者の方々に聞いてみました

海外からも!! ダウンロード&プリント購入の申込み

著者もビックリの利用実績

新しい研究成果は市販の本ではなく論文が多く、卒論では文献収集に苦悶した。E-bookサービスが比較的新しい研究成果を流す手段になった魅力。

中古の研究をしている友人にも教えた。

このたび「Javaプログラミング入門」を出版。E-bookサービス初の理系教科書!

著者 伊藤貴之先生

筑波大学からのインタインシップ生 小仁所宏晃さん

言語文化学科 日本語・日本文学コース2年 五斗 玲子さん

和歌の中のキーワードを探索して便利

言語文化学科 日本語・日本文学コース4年 山富麻衣さん

びしゅ

これまでの出版モデルとの違うところ…

●著者との契約内容は著者の権利を尊重

Ebookサービスの契約

著者から大学と事業会に著作物の利用許可

・著者が自由に著作物を利用する権利を保持。

・著者の希望で契約解除可。

一般的な出版契約

著者から出版社に出版権

●出版物の在庫ゼロ

希望者にはその都度オンデマンド出版し、有償(実費)販売。

●著者への金銭的な対価がない

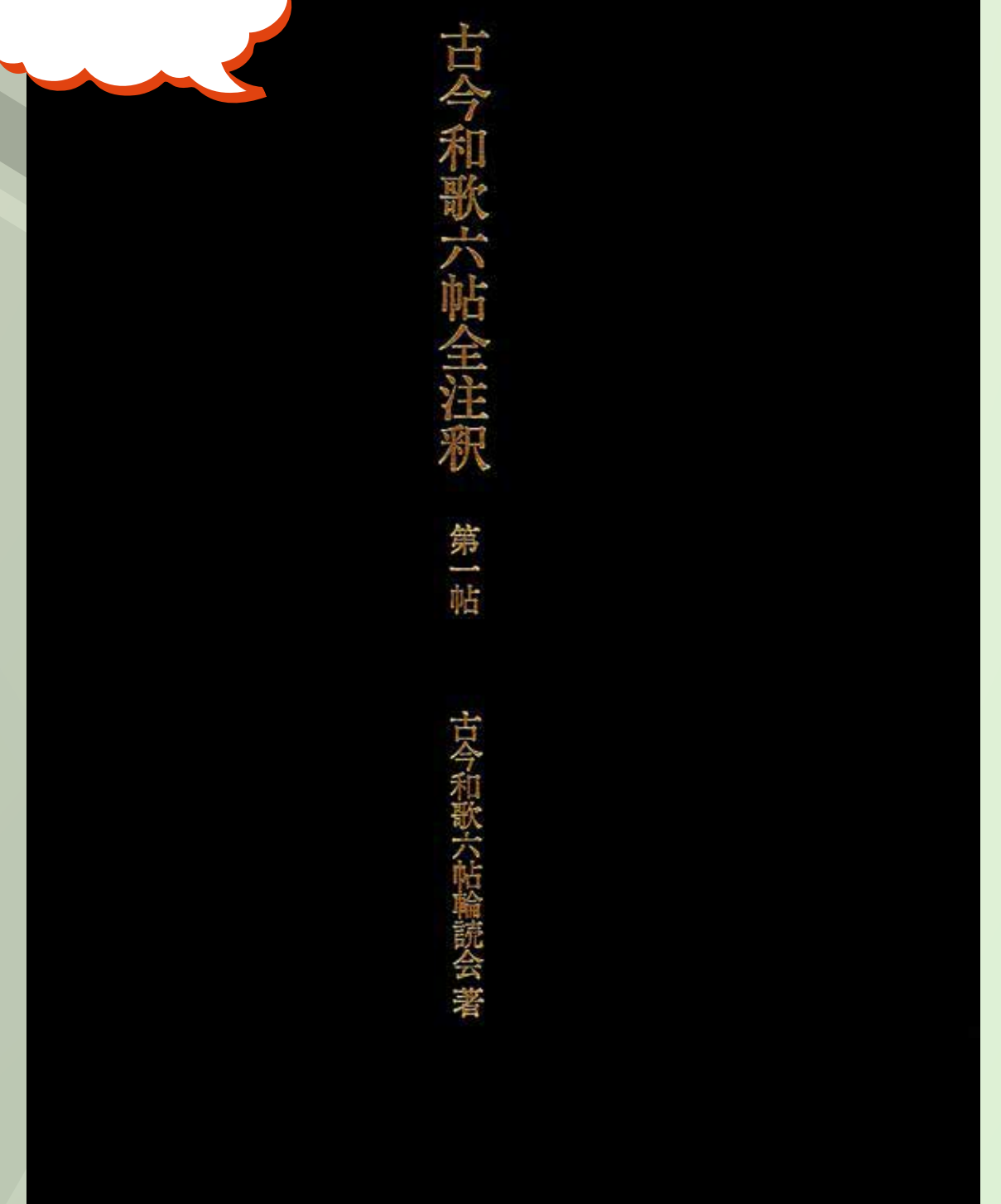
原稿料や著作権使用料ゼロ。しかし、自費出版の際に必要な制作・印刷・製本代の負担もゼロ。著者が得る対価は「研究成果を本として発信・共有できること」。

●流通

書店経由での流通はゼロ。基本はウェブ検索やクチコミ経由のインターネット上の流通。

オンデマンド出版本の実物大見本

ISBN付き!



4 今後の展望

Q 今後の展開・課題は？

E-bookサービスの可能性追求

- 書籍以外の教育・研究成果を、関連論文とともに公開予定。
- インターネット公表した博士学位論文を、さらにブラッシュアップして電子出版予定。

さらなる安定的な運用を目指して

- 図書館内外の関連部署とも連携し、体制強化をしていく予定

Q 評価されたポイントは？

- 著者、附属図書館、お茶の水学術事業会という三者が協働して出版する体制を構築することにより、経費や実務の大きな負担増なく出版事業を実現している。

- リポジトリを活用したE-bookによる出版公開と、オンデマンド印刷による製本の有償販売の仕組みを構築することで、商業ベースでは困難と考えられる圖書の出版・流通を可能としている

著者の「教育研究成果を公開したい」という希望が全ての出発点。出版の形は無限大です。これからのE-bookにご期待ください。



お茶大図書館
おかめTL